

# 中学校 国語科 事例を通じた評価の具体例

「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 P50～57

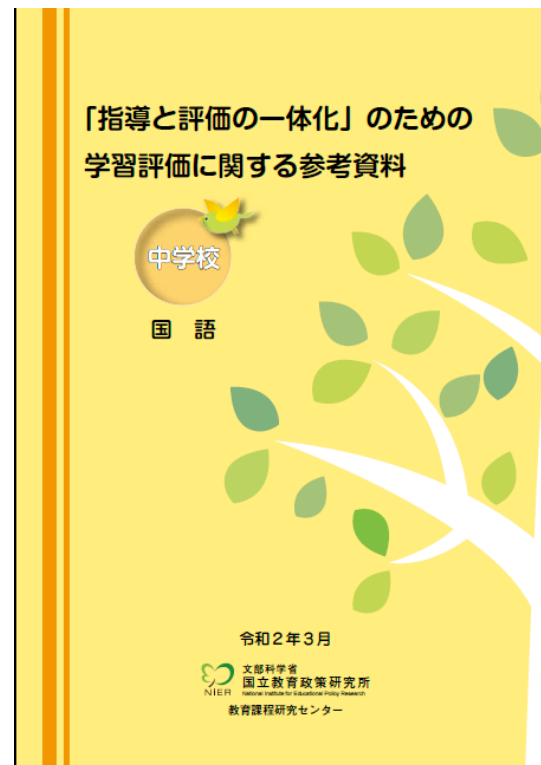
国語科 事例2  
キーワード 「主体的に学習に取り組む態度」の評価、ICTの活用

単元名  
投書を書こう  
～多様な読み手を想定して  
文章全体を整える

内容のまとめり  
第3学年  
〔知識及び技能〕  
(2)情報の扱い方に関する事項  
〔思考力、判断力、表現力等〕B「書くこと」  
(2)ア

## 1 単元の目標

- (1)具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。
- (2)目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えることができる。
- (3)言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。



「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料

## 2 本単元における言語活動

関心のある事柄について、投書を書く。

(関連:〔思考力, 判断力, 表現力等〕B(2)  
ア)

### 3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア)	①「書くこと」において、目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えている。(B(1)エ)	①進んで文章全体を整え、今までの学習を生かして自分の考えを投書に書こうとしている。

※作成手順は「令和2年度 全県教育課程説明会 国語科部会(中学校)」を参考にしてください。

## 4 指導と評価の計画(4時間)

時	主たる学習活動	評価する内容	評価方法
1	○ 関心のある事柄から新聞に投書する題材を決め、自分の意見と根拠をワークシートに書いて整理する。	[知識・技能] ①	ワークシート
2	○ 投書の下書きをワープロソフトで入力する。 ○ グループで下書きを読み合い、分かりにくい部分等について確認し合う。		
3	○ 投書にふさわしい表現について考える。 ○ 読み手の立場に立って自分の下書きを読み、目的や意図に応じた表現になっているかを確認する。	[主体的に学習に取り組む態度] ①	下書き原稿
4	○ 前時に考えたことを基に、ワープロソフトの校閲機能を用いて推敲する。 ○ 推敲した文章を教師に提出し、希望者は清書したデータを投稿する。	[思考・判断・表現] ①	推敲した文章

# 4 指導と評価の計画(4時間)

【単元の流れ】

時	学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習のねらいや進め方をつかみ、学習の見通しをもつ。</li> <li>○ 関心のある事柄から新聞の投書で伝えたい題材を決める。</li> <li>○ 伝えたい自分の意見と根拠、根拠に関連する具体的な出来事や事実をワークシートに書き、整理する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際の投書をいくつか示し、学習の見通しをもたせる。</li> <li>・実際の投書を参考にさせ、伝えたい内容を考えさせる。</li> <li>・既習の「情報と情報との関係」について想起させ、意見と根拠、根拠に関連する具体的な出来事や事実を整理させる。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[知識・技能] ① ワークシート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・根拠に関連する具体的な出来事や事実</li> </ul> </div>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ これまでの「書くこと」の学習を想起し、投書の下書きをワープロソフトで入力する。</li> <li>○ グループで互いの下書きを読み合い、分かりにくい部分等について確認し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この段階では、目的や意図に応じた表現にこだわらずに、下書きを完成させることを目標とする。</li> <li>・学校の ICT 環境に応じて、タブレット端末を交換させたり、座席を移動させたりするなどして、他の生徒が書いた下書きを読ませ、読みにくいと感じたり分かりにくいと思ったりした部分に~~~~線を引いてコメントを入力させる。</li> </ul>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>本時は、B(1)ウに基づいて学習状況を捉え指導を行うが、単元の目標としていないことから、本単元の評価には含めない。</p> </div>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教師が用意した投書を読み、投書にふさわしい表現について考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3学年の「書くこと」で学習してきた文章の構成や表現の仕方などに着目させ、投書を書く目的や意図に応じた表現とはどのようなものかを考えさせる。</li> </ul>	

<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 投書にふさわしい表現について考えたことを伝え合う。</li> <li>○ 読み手の立場に立って自分の下書きを読んで、投書を書くという目的に応じた表現になっているかを確認し、気が付いたことをワープロソフトのコメント機能を用いて入力する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2～3人で共有した後、学級全体で共有する。</li> <li>・投書にふさわしい文章の構成や表現の仕方について共有したことを踏まえ、前時の~~~~線の部分を中心に、自分の下書きの表現を確認させる。</li> <li>・確かめて気が付いたことを基に、文章全体をどのように整えたいかを「～が分からない(伝わってこない)。だから～したい(する)」等のように入力させる。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[主体的に学習に取り組む態度] ① 下書き原稿</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な読み手に自分の考えが分かりやすく伝わる表現の検討</li> </ul> </div>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 前時に考えたことを基に、ワープロソフトの校閲機能を用いて、自分の下書きを推敲する。</li> <li>○ 推敲した文章を教師に提出する。希望者は清書し終わったデータを投稿する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校閲機能を用いて、修正の跡を残しながら書かせる。</li> <li>・コメントや校閲機能による修正の跡が残っているデータを印刷して教師に提出させる。</li> <li>・提出後、希望者は、修正の跡を消して清書したデータを、新聞社のウェブサイト等から投稿してもよいこととする。</li> <li>・目的や意図に応じた表現に整えるために、どのように試行錯誤したのかを振り返らせ、本単元で学んだことを、今後の学習でどのように生かしたかを考えさせる。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[思考・判断・表現] ① 推敲した文章</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な読み手に自分の考えが分かりやすく伝わる表現</li> </ul> </div>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元の学習を振り返る。</li> </ul>		

# 4 指導と評価の計画(4時間)

<p>3</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教師が用意した投書を読み、投書にふさわしい表現について考える。</li> <li>○ 投書にふさわしい表現について考えたことを伝え合う。</li> <li>○ 読み手の立場に立って自分の下書きを読んで、投書を書くという目的に応じた表現になっているかを確認、気が付いたことをワープロソフトのコメント機能を用いて入力する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3学年の「書くこと」で学習してきた文章の構成や表現の仕方などに着目させ、投書を書く目的や意図に応じた表現とはどのようなものかを考えさせる。</li> <li>・2～3人で共有した後、学級全体で共有する。</li> <li>・投書にふさわしい文章の構成や表現の仕方について共有したことを踏まえ、前時の~~~~線の部分を中心に、自分の下書きの表現を確認させる。</li> <li>・確かめて気が付いたことを基に、文章全体をどのように整えたいかを「～が分からない(伝わってこない)。だから～したい(する)。」等のように入力させる。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[主体的に学習に取り組む態度] ①  <u>下書き原稿</u>                  ・多様な読み手に自分の考えが分かりやすく伝わる表現の検討</p> </div>
----------	---	--	--

## 5 観点別学習状況の評価の進め方

本単元では、目的や意図に応じた表現になっているかを確かめて、文章全体を整える力を身に付けさせることに重点を置いているので、文章全体を俯瞰し、多様な読み手に対して自分の考えが分かりやすく伝わる表現に文章を整えようとする過程で、特に粘り強さを発揮させたいと考えた。また、文章の構成や表現の仕方等について今まで学習したことを生かして自分の考えを投書に書く活動の中で、自らの学習の進め方を調整できるようにしたいと考えた。

そこで、主体的に学習に取り組む態度の評価規準を「進んで文章全体を整え、今までの学習を生かして自分の考えを投書に書こうとしている。」と設定し、「おおむね満足できる」状況(B)の例を、以下の【キーワード】によって具体的に想定した。

**【キーワード】**多様な読み手に自分の考えが分かりやすく伝わる表現の検討

## 5 観点別学習状況の評価の進め方

【生徒Pがコメントを書き込んだ下書きの例】

テレビで、自動車の危険な運転のニュースが連日のように流れている。それは、心のゆとりのなさによって起きてしまうのではないだろうか。

先日、いつも通る信号のない横断歩道に近づくと、車がこちらに向かって走ってきた。私は、車が通り過ぎるのを待とうと思い、立ち止まった。すると、その車はゆっくりと止まってくれたのだ。私が会釈をして渡ろうとすると、車を運転していた人は笑顔を返してくれた。

一生道を譲り続けても合計は百歩にもならないという言葉<sup>1</sup>を教<sup>2</sup>え<sup>3</sup>て<sup>4</sup>もら<sup>5</sup>った<sup>6</sup>ことがある。私は、笑顔で道を譲ってもらったとき、心が温まった。ちょっとした譲り合いが、私たちの心を温めてくれる。譲り合う気持ちを大切にしてみませんか。

コメント【P1】: いきなり自分の考えが書いてあるので、この考えに賛成しない人は、読むのをやめてしまうかもしれない。最初は自分が経験した出来事から書き始め、物語のように話を進めることで、分かりやすく自分の考えを伝えられるようにしたい。

コメント【P2】: 誰の言葉? (山田)

コメント【P3】: 誰から? (佐藤)

コメント【P4】: 誰から教えてもらったのかが分からないので、学校の先生から教えてもらったと書く。  
先生に確認して、正確に紹介することで説得力を高めたい。

実際に評価する場面では、表現を整えられたかどうかを見取るのではなく、自分の下書きを読み直して試行錯誤しながら表現を整えようとしているかどうかを見取り、必要に応じて生徒への指導を行って学習の改善を促したいと考えた。そこで、第3時に下書きの文章の構成や表現の仕方を確かめる際に、生徒がワープロソフトのコメント機能を用いている様子や書いている内容を【キーワード】により評価し、必要に応じて指導を行った。その後、下書き原稿を印刷して提出させ、それを【キーワード】によって評価した。



# 5 観点別学習状況の評価の進め方

【生徒Pがコメントを書き込んだ下書きの例】

テレビで、自動車の危険な運転のニュースが連日のように流れている。それは、心のゆとりのなさによって起きてしまうのではないだろうか。

先日、いつも通る信号のない横断歩道に近づくと、車がこちらに向かって走ってきた。私は、車が通り過ぎるのを待とうと思い、立ち止まった。すると、その車はゆっくりと止まってくれたのだ。私が会釈をして渡ろうとすると、車を運転していた人は笑顔を返してくれた。

一生道を譲り続けても合計は百歩にもならないという言葉も教えてもらったことがある。私は、笑顔で道を譲ってもらったとき、心が温まった。ちょっとした譲り合いが、私たちの心を温めてくれる。譲り合う気持ちを大切にしてみませんか。

コメント【P1】:いきなり自分の考えが書いてあるので、この考えに賛成しない人は、読むのをやめてしまうかもしれない。最初は自分が経験した出来事から書き始め、物語のように話を進めることで、分かりやすく自分の考えを伝えられるようにしたい。

コメント【P2】:誰の言葉？(山田)

コメント【P3】:誰から？(佐藤)

コメント【P4】:誰から教えてもらったのかが分からないので、学校の先生から教えてもらったと書く。  
先生に確認して、正確に紹介することで説得力を高めたい。

コメント【P1】で、投書の読み手は様々な立場にあたり多様な考えをもっていたりすることを想定し、書き出しでは自分の考えを示すのではなく、具体的な体験を述べることで自分の考えが分かりやすく伝わる表現にしようとしている。

また、コメント【P2】、「P3」は他の生徒からの指摘である。それらを踏まえて、コメント【P4】では、資料を適切に引用することで読み手に対する説得力を高めようとしている。これらのことから、【キーワード】に該当すると判断した。

## 5 観点別学習状況の評価の進め方

### 【生徒Qがコメントを書き込んだ下書きの例①】

挨拶や食事に限らず、様々な場面でマナーについて考えさせられる。マナーの良さあしは何によって決められるのか。まずは、図書館や電車、バスといった公共の場所で考えてみる。これらの場所では、大きな声で話していたり、物音を立てたりしている人はあまり見かけない。それは、多くの人がいるのもあるけれど、自分一人が利用しているわけではないと考えているからではないだろうか。

そして、人との会話も、マナーの一つなのだと思う。人の話を聞くときには相手の目を見るし、ほかのことをやりながら聞かれると、気分がよくなりほしくない。

つまり、マナーとは、だれかと関わる上で、お互いに気分良く過ごせるためのものなのだと考える。

**コメント【Q1】:** 読み手は、「だから何なのか？」と思うかもしれない。「これからも日常生活でマナーを守って過ごしていきたい。」というように自分の決意でめくることで、読者に自分の思いを伝えたい。

# 5 観点別学習状況の評価の進め方

## 【生徒Qがコメントを書き込んだ下書きの例①】

挨拶や食事に限らず、様々な場面でマナーについて考えさせられる。マナーの良しあしは何によって決められるのか。まずは、図書館や電車、バスといった公共の場所で考えてみる。これらの場所では、大きな声で話していたり、物音を立てたりしている人はあまり見かけない。それは、多くの人がいるのもあるけれど、自分一人が利用しているわけではないと考えているからではないだろうか。

そして、人との会話も、マナーの一つなのだと思う。人の話を聞くときには相手の目を見るし、ほかのことをやりながら聞かれると、気分がよくなりたくない。

つまり、マナーとは、だれかと関わる上で、お互いに気分良く過ごせるためのものなのだと考える。

コメント【Q1】：読み手は、「だから何なのか？」と思うかもしれない。「これからも日常生活でマナーを守って過ごしていきたい。」というように自分の決意でしめくくことで、読者に自分の思いを伝えたい。

【生徒Qがコメントを書き込んだ下書きの例①】は、推敲する際に教師に助言を求めてきた生徒の例である。生徒Qは、マナーを守る人が増えていけば、みんなが気持ちよく過ごせる世の中になっていくはずだと考えていた。しかし、下書きに入力したコメントは、自分の考えを多様な読み手に分かりやすく伝える表現を検討するものとはなっていなかった。

そこで、生徒Qに対して、「あなたの決意を書くように修正しようとしているけれど、あなたは、新聞の投書で自分の個人的な決意を伝えたいのですか。それとも、何か世の中の人に行動してほしいことがあって、この投書を書こうと思ったのですか。あなたの目的に応じた修正の仕方になっているかどうかを見直してみましよう。」と助言した。

## 5 観点別学習状況の評価の進め方

### 【生徒Qがコメントを書き込んだ下書きの例②】

挨拶や食事に限らず、様々な場面でマナーについて考えさせられる。マナーの良しあしは何によって決められるのか。まずは、図書館や電車、バスといった公共の場所で考えてみる。これらの場所では、大きな声で話していたり、物音を立てたりしている人はあまり見かけない。それは、多くの人がいるのもあるけれど、自分一人が利用しているわけではないと考えているからではないだろうか。

そして、人との会話も、マナーの一つなのだと思う。人の話を聞くときには相手の目を見るし、ほかのことをやりながら聞かれると、気分がよくなりほしくない。

つまり、マナーとは、だれかと関わる上で、お互いに気分良く過ごせるためのものなのだと考える。

コメント【Q1】:「マナーがよくない」と思った出来事(電車の中で騒いでいた人たちのこと)から書き始め、投書の読者にも「そういうことってある」と共感してもらおう。その後、いつも私の目を見ながら話を聞いてくれるZさんのことを書き、読み手にマナーとは何かを考えてもらいたい。

コメント【Q2】:相手のことを考えて行動することができれば、相手も自分も気分がよくなる。そんな世の中にしていきませんかと呼びかける。

その結果、次の【生徒Qがコメントを書き込んだ下書きの例②】のように改善された。【生徒Qがコメントを書き込んだ下書きの例②】では、コメント【Q1】で、読み手が文章の冒頭から共感しながら読むことができるように、文章の構成を修正しようとしている。また、コメント【Q2】で、自分の考えが読み手に分かりやすく伝わるように、結びの一文を修正しようとしている。これらのことから、【キーワード】に該当すると判断し、「おおむね満足できる」状況(B)とした。